

# 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年12月5日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676700083
法人名	社会福祉法人松山やっちく会
事業所名	グループホーム松山あじさい
所在地	鹿児島県志布志市松山町泰野字松ヶ迫1111番地 (電話) 099-487-8200
自己評価作成日	令和2年10月19日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和2年11月27日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・年間を通して、季節ごとの行事や食べ物を提供することで見当識や回想法に活用できたり楽しみを見出すことができている。  
・グループホームの大きな柱である理念と別に介護方針を掲げ、単年度介護目標の年間計画を立て毎月目標を実践できるよう取り組んでいる。また、毎月評価を行っている。  
・法人で隣接施設に管理栄養士が配置されている特色を活かし、疾患により食事療法が必要な入居者の方への専門食を提供することで退所をすることなく継続して生活が可能となっている。  
・年3回の家族会/交流会や毎月のお便り・定期受診報告を全家族に文書で報告することで入居者の方の健康状態を把握することができている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

理念は、法人運営者の思いを反映したもので食堂兼リビングに見やすく、文章を分けて分かりやすく掲示してある。また毎年、理念に沿った介護目標に向けて職員全員で取り組むとともにスタッフ会議で話し合い、振り返る機会を設けている。さらに毎年度職員向けアンケート調査を実施し、理念についても意識調査しており、理念は職員に浸透している。理念は、家族や第三者など一般の方にも分かるようパンフレット、重要事項説明書、広報誌などに掲載している。  
職員は年3回、家族会を通じて手作りの食事を囲み交流し、家族向けアンケート調査を実施したり、感染予防を徹底しパーティションにてソーシャルディスタンスや時間制限がありながらも家族との面談ができるよう取り組み、家族が利用者との会話を楽しんだり元気な様子を感じてもらおうとともに絆を深めている。  
昼食は、専任の職員が2ユニット分を作っているが、だんごや桜餅などの手作りおやつや、菜園で採れたブロッコリー、大根などの旬の野菜の活用したり、地元業者から食材を仕入れている。例年は、能力に応じたお手伝いもいただいているが、新型コロナウイルス感染症予防のため安全を第一に対応し職員とは別に食事を摂ったり、行事食などを提供して食への興味や楽しみが見出せるよう工夫を凝らし食の自立に繋がるようできる力を発揮し全力で取り組んでいる。  
排泄時のプライバシー保護のため、トイレ入口にレースカーテンを設置し安全確認ができるように環境を整備し排泄の自立支援に繋がるよう取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念を掲示</li> <li>・理念に関連した研修会や目標を掲げ実践につなげている。</li> </ul>	理念は、共有スペースに分かりやすく表記するなどして掲示されている。「介護目標・年間計画」にて毎月の理念を意識した目標を設定し、スタッフ会議などで話し合い理念を共有し実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のサロン主催者と交流を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染対策のため延期未定となっている。</li> </ul>	支援サポーターや中学生の職場体験や実習生の受入れ、保育園児との交流、特養での地域交流、地域行事への参加や本人の地元の地域での交流活動を毎年支援しているが、今年は感染症予防のため自粛している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議を通して地域住民代表に認知症の支援の事例等を報告している</li> </ul>	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進委員からの意見や助言を参考にサービスの向上に活かしている</li> </ul>	新型コロナウイルス感染拡大予防のため会議開催は見合わせ構成メンバーに資料を配布し電話にて事業所運営などに意見をいただき情報を共有するよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	・行政担当者とは運営に関しての情報交換を積極的に取り組んでいる	市担当者や福祉事務所職員とは、電話や面談などで相談や指導・助言などをいただく機会があり、福祉事務所職員の連携や協力関係を築くよう取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・3ヶ月毎に身体拘束適正化委員会を開催し身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体的拘束等適正化のための会議は、定例化され検討課題や事例を用いた意見交換をしている。職員は、法人全体の研修会への参加や毎月の会議の中で身体拘束をすることについての弊害について意識向上に努め身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・定期的に高齢者虐待防止についての研修会を開催し全職員が理解と防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・権利擁護に関する研修会は法人の研修会で年1回開催されている。 ・現状で活用できるような理解と状況にはない		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・契約、解約、改定の際は十分な説明を行い理解、納得を得ている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・年3回の家族会、年1回のアンケート、面会等で要望や意見を運営に反映させている	毎年9月、利用者や家族向けのアンケート調査を実施、回答率も高く、出された意見を運営に活かしている。管理者は、契約時、運営推進会議への参加を勧め会議には交代制で家族に参加していただくなどしている。新型コロナ禍であるが、感染予防に配慮し時間制限などして、希望があれば面会をしていただくなど柔軟に取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・月1回の会議にて運営状況を報告。会議の場で職員に意見や提案を聞く機会を設けている	管理者は、個別面談を随時実施、年1回アンケート調査を実施、ストレスチェックの結果を分析したり、スタッフ会議で意見交換している。職員採用については、お祝い金制度を設け雇用につなげたり、シルバー人材センターも活用している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・働きやすい職場、やりがいの持てる職場を目標とし働き方改革や負担軽減等の環境の整備に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・例年であれば法人内外の研修の機会を作っているが今年は新型コロナウイルス感染対策のため中止となっている。</p> <p>・レジュメを回覧で周知している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・例年であれば法人内外研修にて交流の機会はあるが今年は機会を作れていない</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・利用を開始する前と開始する段階で希望や要望を聞き安心できるよう努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・利用を開始する前と開始する段階で希望や要望を聞き安心して見守れるよう努めている		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・利用を開始する前と開始する段階で今必要としている支援を汲み取りサービスに繋げている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・本人の持てる能力を見極め、待つ介護を心がけている。できないことではなくできることに目を向けるように心がけている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・入居契約時に家族の関わりについて支援の依頼をお願いしている。 ・面会、外出・泊を積極的にしていただけるようお願いしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・家族の支援を借り人や場所との関係継続を維持できている方もいる。 ・園内の馴染みの方との関わる時間を毎日作っている。	併設の特養のイベントやデイを通じての地域交流や行きつけの理美容店の活用、携帯電話で家族との関係継続が図れるよう支援している。職員は、家族や知人などがゆっくりと面談ができるよう配慮している。現在は、訪問を自粛しているため、ドライブや園内の方々との交流活動に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・関係性のできている方々の間に入り支え合える支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・契約終了時には相談や支援の力になることはお伝えしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・1人ひとりに話をする時間を作ったり、生活の中で収集した希望・意向を介護職から情報収集している。	会話したり、表情やうなづきなどで本人の思いに触れ、把握に努め、家族に聞き取るなどして本人本位に検討している。職員は、利用者との信頼関係に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・1人ひとりの生活歴や環境を尊重しそれぞれのやり方でやってもらい抑制はしない。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・個別の一日の過ごし方や生活能力は日々変わるので変化に注意しながら支援に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・それぞれの関係者の意見やアイデアを反映し現状の介護計画を作成している。	カンファレンスや担当者会議などで本人の意向を踏まえ、自立した生活の実現や望む暮らしについて話し合い、生活習慣の改善に繋がるよう計画したり、モニタリング結果から目標やサービス内容を見直すなど柔軟に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>・個別記録と職員間で情報を共有し介護計画に活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>・できる限りニーズに柔軟に対応できるように努めている。時には既存のサービスに捉われない支援を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>・支援サポーターやサマーボランティア、慰問あり。</p> <p>・地域住民を招き語らいの時間を計画しているが新型コロナの関係で中断。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・基本的に係りつけ医は本人及び家族の希望を優先している。医療機関とは今までの情報を共有することもでき適切な医療を受けられている。</p>	<p>訪問診療の方が1名おられるが、大半は外来受診で職員が付き添ったり、家族の協力をいただきながら適切な医療を受けている。AEDが設置してあり、半年に1回、心肺蘇生法の訓練を実施している。また、医療機関からオンライン研修の誘いがあり連携している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>・入居者の変化や気づきを都度訪問看護に相談し助言や指示をもらい適切な受診を受けられている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>・入院中は看護師やソーシャルワーカーとの情報交換や相談に努めたりカンファレンスに出席することもある。</p> <p>・普段から定期受診時に相談や助言を受けている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>・普段から生活の情報は報告しており変化があれば都度報告している。重度化や終末期についても早い段階から説明を行い理解を得ている。</p>	<p>重要事項説明書にて、重度化した場合の対応や看取り介護についての指針について説明し、具体的な対応や意志確認を文書化しており、契約時や段階に応じて同意を取っている。看取り後は、グリーフケアを実施、職員間の話し合いを行い、看取りを振り返り次に繋がるケアの実現に向けて取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>・急変時や事故発生時のマニュアル作成しており対応を定期的に確認し周知している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>・年2回の防災訓練、2019年はBCP机上訓練を実施。</p>	<p>災害マニュアル、法人の事業継続計画に添った対策があり、地域のシェルター機能を備えている。法人が地域協定を結び地域との協力体制があり、法人と不審者対応の研修や徘徊模擬訓練に参加している。また、消防の立ち入り検査は随時おこなわれている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・介護方針、目標で掲げており常に人格を尊重し自尊心やプライバシーを損ねない介護に努めている。	「職員10の心得」や毎年度の介護目標・年間計画に掲げて、日々のケア実践において常にプライバシーを意識し、スタッフ会議で研修をするなどしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・相手の言葉を引き出すため待つ介護に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・理念、介護方針、目標で掲げており入居者優先に努め各個人のペースに合わせた支援を心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	・ご本人に聞きながら身だしなみには心がけている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・一人ひとりの嗜好を確認の上食事に反映している。 ・食前の献立をお伝えしている。 ・一緒に準備、片付けはできていない。	地産地消を意識し、地元生産者やスーパーから食材を購入するよう心がけている。昼食は、2ユニット分を専任の職員が作り、誕生日には、家族と一緒にお茶とケーキで祝っている。寿司を出前したり、家族や遠足などで外食を楽しんでいる。現在は、感染症予防に配慮し食事を楽しんでもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・係りつけ医での定期検査にて栄養状態を把握し食事に反映している。水分について個人の嗜好に合わせて柔軟に提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・毎食後口腔ケアを実施。 ・口腔状態に応じて必要であれば訪問歯科依頼している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	・排泄チェック表、個人台帳で排泄状況を把握。重度化傾向にあってもできる限りトイレでの排泄支援に努めている。	排泄介助が必要な方や車いす対応の方も多いが、排泄のリズムや定時に誘導するなどして昼間はトイレ、夜間はポータブルトイレやおむつを併用される方もおられるが、排泄の自立が図れるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・食事や飲み物、運動を心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	・各個人の希望やタイミングにできるだけ合わせるようには努めている。	職員向けのアンケート調査や職員会議での話し合いの結果、Iユニットに移動用リフトを設置している。毎回、入浴剤にて温泉気分を楽しんでもらい一人ひとりがゆっくりと入浴していただけるよう取り組んでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・各個人の生活習慣やその日の状態に応じて対応できている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・内服変更時は目的、副作用等周知し経過観察を行うようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・全ての方ではないが楽しみや気分転換、役割の支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・その時々希望にできるだけ添える形で外出したり家族の外出支援もある。（現在は新型コロナウイルスのため外出制限中である）	ホーム周辺の散歩や理髪店への外出などが主である。毎年、梅ちぎり、お釈迦祭りなどの季節のお祭り見物などに計画的に外出するなどして季節が感じられるよう支援していたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため現在は、外出を自粛しており、地域行事も中止しているので参加もできていない。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>・2名程お金を所持している。本人同伴でお金を使う支援も少数ではあるが支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>・電話のやり取りの支援はしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・共用空間は不快や混乱刺激がないよう配慮している。</p> <p>・季節感を取り入れている。</p>	<p>食堂とくつろぎのスペースにはテレビやソファが設置してあり、思い思いに過ごしている。畳部屋には仏壇が置いてあり、採光もあり、対面式キッチンからは料理の匂いや音、職員との話し声が聞こえ家庭的な雰囲気である。両ユニットの共有スペースでは、メダカを水槽で飼っている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>・独りになったり利用者同士で思い思いに過ごせる空間を作っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・入居時に馴染みの物の持ち込みのお願いをしている。</p>	<p>毎朝、職員が掃除の時に消毒や部屋の換気をしているが、利用者自身が片付けをされる方がいる。日記をつける方や携帯電話を使用される方がおられたり、冷蔵庫に飲み物を保管して自由に飲まれる方など、本人の希望に応じ居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>・安全な環境づくりには努めている。</p>	/	/

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		<input type="radio"/>	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない